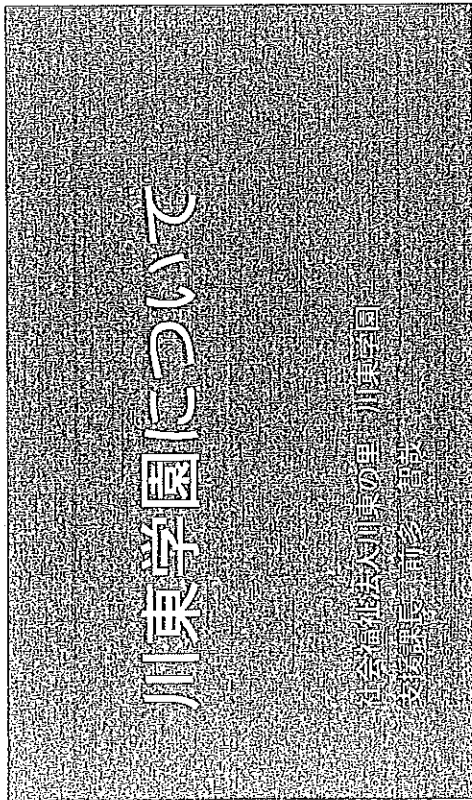
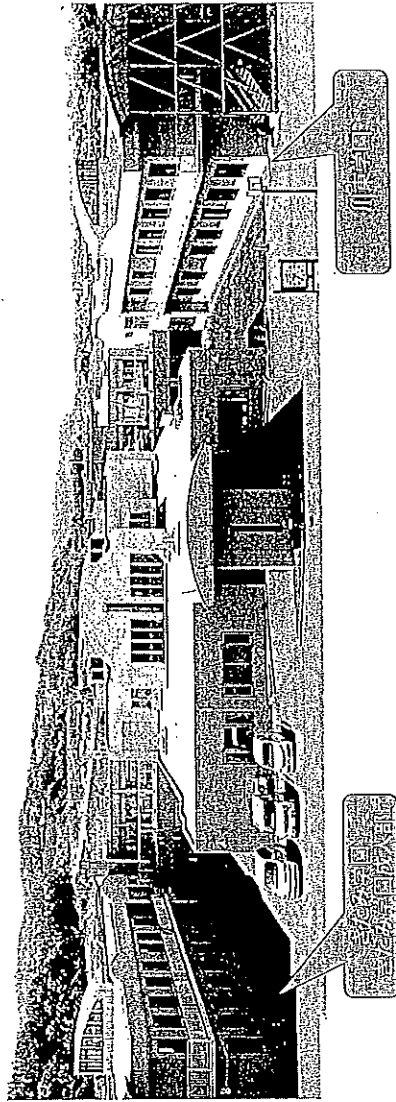
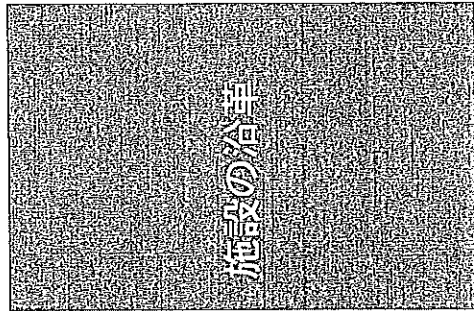
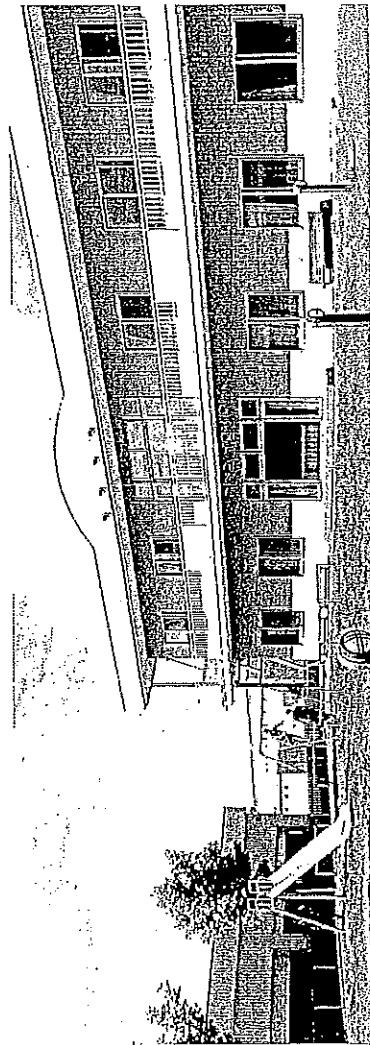


【施設外観①】



【施設外観②】



- 昭和43年 精神薄弱児入所施設「きたみ学園」開設
- 昭和52年 精神薄弱者入所更生施設「川東学園」開設
- 昭和53年 川東学園の定員を48名→60名に増員
作業用訓練地取得→養豚、養鶏、畑作を始める
- 昭和59年 敷地内に食肉加工施設完成
- 平成元年 グループホーム開設
→平成19年までに16家を開設

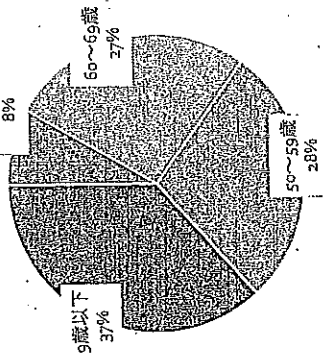


状況

定員	60名
現員	59名
平均区分	5.2
療育手帳 (知的障がい)	58名
身障手帳 (身体障がい)	17名
精神障がい者福祉手帳	2名

平均年齢 54歳

利用者の年齢構成



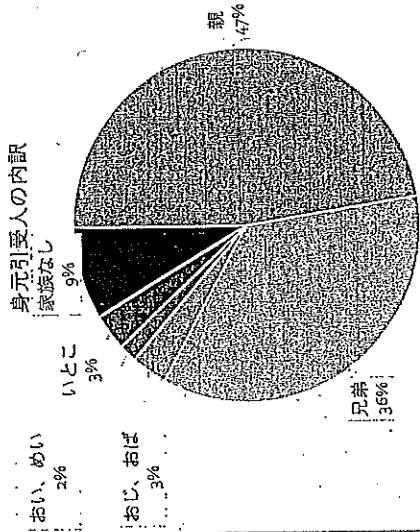
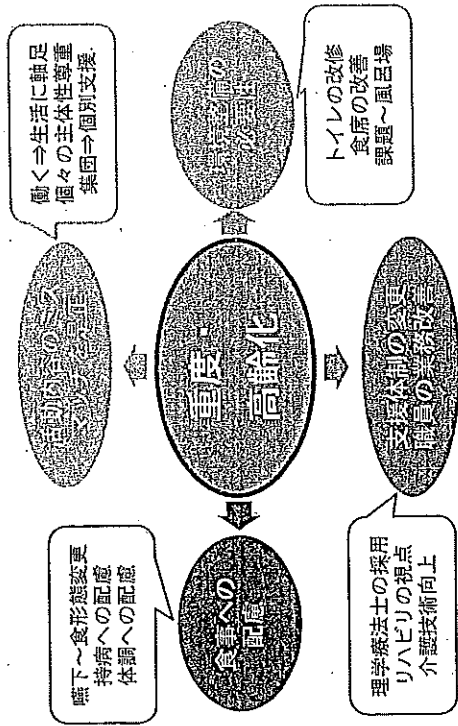
70歳以上 60~69歳
50~59歳 49歳以下

☆個人差はあるが...

- ・一般の方に比べ、10~15歳程度老化が早いとのデータがある。
- ・つまり、弊施設は一般に当てはめると平均年齢70歳弱と考えられる。
- ・50歳代半ばから体調の変調を訴え、60歳を境にADL(日常生活動作)の低下が顕著になるケースが多い。

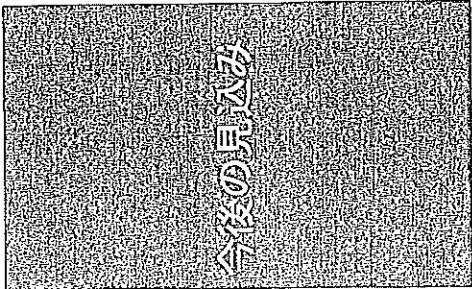
障がい者の加齢

対応の状況



親・兄弟・おじ、おば・おい、めい・いとこ・家族なし

後見人を利用
現在10名



- 利用者の高齢化＝家族の高齢化
⇒諸手続きの困難性。
- 増々、後見人制度の必要性が高まる。

